

平成29年度 年度初め 校長あいさつ



校長 行成啓介
(第27代校長 H29.4～)

新たな年度のスタートに当たり、ご挨拶申し上げます。

平成29年度の人事異動によりまして、新体制がスタートします。

私は、4月1日付けで長崎県立北松農業高等学校校長から長崎県立諫早農業高等学校校長を拝命いたしました 行成啓介（ゆきなりけいすけ）と申します。どうかよろしくお願い致します。

今年度もこれまで以上に「生徒と教職員が一体となっていきいき輝ける学校づくり」を全職員でその実現を目指して頑張りたいと思います。その実現のために具体的に2つのことに取り組みます。

1 つ目は、「働き甲斐のある職場づくり」、「風通しの良い温かみのある職場づくり」を目指します。副校長先生、教頭先生や各学科主任、学年主任、分掌主任の先生を中心に、先生方の一人ひとりの力を結集して、同じ目標に向かって取り組むことが大きな力につながり、良い結果を生み出します。常にチームワークを意識して、お互い助け合い、認め合いながら「チーム諫農」として取り組んでいきたいと思っています。

2 つ目は「生徒の一人一人の得意技づくり」や「生徒の夢をサポートする面倒見の良い学校づくり」を目指していきたいと考えています。生徒一人ひとりには他人に負けない能力、特技を必ず持っています。学習面、部活動、資格取得、進路面、農業クラブ活動、ボランティア活動など自分自身の得意技を早く見つけて努力し夢が実現できるよう全教職員でサポートするつもりです。

さて、本校は明治40年長崎県立農学校に始まり、現在の長崎県立諫早農業高等学校になり今年度創立110周年を迎える伝統ある全国でも屈指の農業高校です。本年11月には記念式典も盛大に開催される予定です。

最後になりましたが、本校の更なる飛躍を目指して今年1年PTA、同窓会のご助力を得ながら頑張ってまいりますのでよろしくお願いいたします。

校 訓

「創造実践」

学校教育方針

長崎県教育方針を基に、高等普通教育と農業・家庭に関する専門的知識・技能を施し、地域文化・産業の発展に貢献し、国際社会を生きる心身ともに健全な産業人を育成する。

学校教育目標

- 1 基礎的・基本的知識及び技能の習得と定着を図り、社会に必要な主体的に学ぶ態度や思考力・判断力・表現力などの能力を育成する。
- 2 農業や環境、地域社会に関する学習を深め、生命や自然、郷土を愛する心や自他の尊重、社会連帯の精神の涵養と共生社会に必要な能力を育成する。
- 3 「食農教育」や健康・安全教育への取組を推進し、心身ともにたくましく生きるための健康や体力、安全で快適な生活を送ろうとする態度を育成する。

平成29年度 努力目標

- 1 生徒や保護者、地域や時代のニーズに対応した教育課程を編成し、生徒の多様な進路に対応できる学習機会を保障する。
- 2 学習内容や教材、指導方法の創意工夫を図り、基礎学力の定着や技能の習得・向上に努めるとともに資格取得を推進する。
- 3 教職員の共通理解のもと全ての教育活動をとおして道徳性の涵養に努める。
- 4 集団生活や体験活動、学校行事の充実を図り、自主性や協調性、コミュニケーション能力などの育成に努める。
- 5 基本的生活習慣や倫理観、規範意識等に関する指導を徹底し、不易で普遍的な価値観の育成に努める。
- 6 インターンシップやボランティア活動の充実を図り、望ましい職業観や勤労観の育成に努める。
- 7 学年、学科、進路指導部の連携を強化し3年間を見通した系統的な指導をとおして進路実現に繋げる。
- 8 心身の健康や安全に関する指導を徹底し、部活動の推進を図る。
- 9 専門教育における新しい取組や新技術の導入を積極的に推進するとともに農業教育を通して科学性、社会性、指導性を養成する。
- 10 地域の保育園や小・中学校、特別支援学校等と連携を強化し施設設備を開放するとともに学校に対する理解を深め、開かれた学校づくりを推進する。
- 11 望ましい教育条件の整備充実に努める。